

松山大学大学院医療薬学研究科 がんプロ第5回公開講座

「制吐療法研究の苦労話し」

講師：橋本 浩伸 先生

国立がん研究センター中央病院薬剤部



薬剤師の臨床現場への進出は目覚ましいものがある。その業務の中で見出した臨床疑問を臨床研究として立案し「薬剤師中心」や「薬剤師主導」といった言葉を冠し大きな業績を残しているものもある。一方、平成30年4月1日付で臨床研究法が施行され、薬剤師が侵襲を伴う介入研究において研究代表者を務めることは不可能となった。演者は法施行直前の時期から非定型抗精神病薬であるオランザピンを用いた制吐療法の臨床試験の事務局を務めた。この度頂戴した機会での臨床試験で得られた経験を紹介したい、この経験談が今後の薬剤師による臨床研究に少しでも役に立つことがあれば幸いである。

座長：高取 真吾（松山大学薬学部准教授）

日時：令和元年 12月 7日（土）、17時～18時半

会場：松山大学 薬学部棟2階、920講義室

対象：病院薬剤師および薬局薬剤師の先生方、
がん医療に関わる方、大学院生、
一般の方のご参加も歓迎いたします。

申し込み不要、入場無料

単位付与：

○ 日本薬剤師研修センター生涯研修として1単位

主催：中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
松山大学大学院医療薬学研究科

共催：愛媛県薬剤師会、愛媛県病院薬剤師会、松山薬剤師会

お問合せ：松山大学薬学部事務室（平日9時～17時）TEL 089-926-7193（直通）

To the frontier of
The Cancer
Genome
Challenge

2019